「共通実践」レビュー　【記入例】

記入日　●月　●日（ ● ）

（ 学び合い 部会）授業者（ 国語科・◆◆ ◆◆ ）

【学校全体で目指す児童生徒の姿】

・自ら課題を見いだし、解決に向けて粘り強く取り組む姿
・他者との対話を通して、考えを深める姿

【実践で目指した児童生徒の姿】（ 9月 ●日 時点）

他者の発言をよく聞き、自分の考えと比較しながら対話する姿

【具体的な実践内容】は、
＊単元全体を通した手立て
＊一単位時間での手立て
＊一つの課題に対する手立て
など、授業者の課題に応じて柔軟に設定します。

【具体的な実践内容】（実践期間…9月2週目頃 単元「■■■■■■■」全●時間 ）

・話合い活動の例を示し、どのような話合いが効果的であるか考える時間を設ける。
・生徒が必要性を感じる場面で、目的を全体で確認してから話合い活動を行う。

【実践の成果と課題】

児童生徒の具体的な学びの姿

《6月●日》
生徒A：順番に言っていこう。
生徒B：僕は、⑧がいいと思います。
生徒C：私は、⑥かな。
生徒D：私も。
生徒A：じゃあ、⑥にしようか。

意見を出し合うだけで、考えが深まっていなかった。

《9月●日》
生徒A：Bはどう思う？
生徒B：僕は、この場面は最後の場面のための布石だと思う。
生徒C：私もそう思う。同じ言葉だけれど、意味が違うから。
　　逆に最後の方の意味が際立つんじゃない？
生徒D：そんなに意味が違うかな？僕には同じに思える。

質問したり、反論したりするようになった。

根拠を示しながら反論できていない生徒がいる。

成果

・自分とは違う考えを理解しようと質問する姿が見られた。
・互いの考えの違いを整理しながら、話し合う姿が見られた。

課題

・考えが深まるような質問や反論ができていない。

（授業者の課題）
・一人ひとりの生徒が話合い活動によって、どのように考えを深めたのかを十分に把握することができない。

ノートやワークシートの内容、授業中の発言や様子、振り返りの記述内容等、具体的な児童生徒の学びの姿を基に、実践の成果と課題を検証します。

★★★★★★★★★★★★★ 改 善 策 ★★★

☆次の実践で目指す児童生徒の姿

・根拠となる文や文章を示しながら、質問や反論し合うことで考えを深める姿
・自分の考えの広がりや深まりを振り返りに記述する姿

☆次の実践内容　（実践期間…１０月３週目頃　単元「■■■■■■」　全●時間　）

・個人で考える段階で、根拠を確認しながら考えられるようシートを工夫し、事前に一人ひとりの生徒の考えを把握しておくことで、話合いのグループ編制に生かす。
・授業中の気付きや学びの実感が分かる振り返りの記述を紹介する。